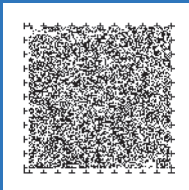


下のマークは音声コードです。
アプリ「Uni-Voice」で音声を再生できます。



第3期

徳島県

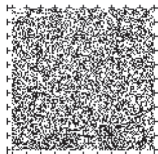
スポーツ推進計画

(令和5年度～令和9年度)

【概要版】



徳島県



徳島県スポーツ推進計画概要

計画策定の趣旨

本県では、2018(平成30)年3月に第2期「徳島県スポーツ推進計画」を策定し、県民の明るく活力あるスポーツライフの実現に努めてきたところです。

第2期計画期間中には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、スポーツの分野も国際スポーツ大会の延期やコロナ禍での行動制限等による運動機会の減少など、大きな影響を受けました。

また、本県で事前キャンプを実施した「ラグビーワールドカップ2019」や「東京2020オリンピック・パラリンピック」のレガシー継承や、今後開催される「2025年大阪・関西万博」、「ワールドマスターズゲームズ2027関西」に向けた取組など、新たな本県スポーツを取り巻く環境への対応が必要となっています。

今後の本県スポーツの推進にあたり、これまで取り組んできた施策の成果を踏まえつつ、新しい時代に即した「ポストコロナ新時代」のスポーツ施策を充実・発展させるため、第3期「徳島県スポーツ推進計画」を策定することとしました。

計画の期間

令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

スポーツの意義

スポーツは青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等、人格の形成に大きな影響を及ぼします。

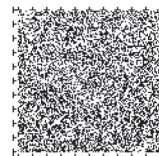
また、スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成することで、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するほか、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たし、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠なものです。

さらに、コロナ禍で活動が制約される困難な状況の中、「東京2020オリンピック・パラリンピック」では、目標に向かって挑戦するアスリートの姿が国内外の多くの人々に感動をもたらしたように、スポーツは「する」だけでなく、「みる」ことによっても人々の心を動かし、夢や希望を与えることができます。

そして、スポーツがこのような真価を発揮するのは、それを「ささえる」関係者の尽力無くしてはありません。

県民の誰もが各々の関心、適性等に応じて「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツに関わることで、健やかで心豊かな生活を送ることができると同時に、地域の魅力を創造し、人と地域が共に成長していくことができると考えます。

計画の基本理念



スポーツで開く！ 希望あふれるとくしまの未来

スポーツは、心身の健康や体力の向上だけでなく、アスリートの活躍による感動の共有や、コミュニティの形成をはじめ、地域活性化、共生社会の実現など、人生を豊かにする力を持っています。県民の誰もが、それぞれのスタイルでスポーツに親しむことで、希望あふれる未来に向けて、とくしまの可能性の扉を開くという考えに基づき、計画の基本理念を「スポーツで開く！希望あふれるとくしまの未来」とします。

計画の基本目標

基本理念を具現化するため、次の4つの基本目標を柱に施策を推進します。

世界で活躍できるトップアスリートが育つ

輝くとくしま

ジュニア期から切れ目ない指導体制の構築や支援によりトップアスリートが競技しやすい環境の整備を行うとともに、関係機関と連携し、充実した医科学サポートにより、個々の選手がハイパフォーマンスを引き出し、長く幅広く活躍できる支援体制の構築を目指します。

スポーツを通じて子どもたちの可能性を伸ばす

元気なとくしま

幼い頃から、スポーツの楽しさを味わうことにより、生涯にわたって運動・スポーツに親しむことができる健康的な生活習慣を確立するとともに、心の成長を促進するため、子どもたちがスポーツに親しむことができる機会を確保できるよう、積極的に取り組みます。

誰もがスポーツを楽しむ

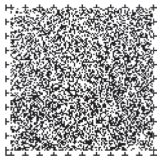
豊かなとくしま

性別、年齢、障がいの有無、地域事情等に関わらず、誰もが生涯にわたって心身ともに健康でスポーツを楽しめる、生涯スポーツ社会の実現をめざし、スポーツに参加しやすい環境づくりの推進や、オンラインを活用することで、いつでも多様な主体が平等にスポーツに関わることのできる環境を整備します。

スポーツで人とまちをつなぐ

ふれあいとくしま

本県の豊かなスポーツ資源や観光資源を活かすとともに、国際スポーツ大会の事前キャンプ受入れにより創出された「レガシー」を最大限に活用し、経済効果や競技力向上につながるスポーツツーリズムの推進に向け、関係機関と連携・協力しながら、国内外のスポーツ大会や合宿の誘致など、交流人口の拡大と地域活性化に積極的に取り組みます。



基本目標

1

世界で活躍できるトップアスリートが育つ 「輝くとくしま」の推進

■ 施策

施策の方向 1

アスリートの戦略的な発掘・育成・強化

- (1)ジュニア選手からトップアスリートまで切れ目ない指導体制の整備
- (2)新たな有力選手の発掘・育成

施策の方向 2

トップアスリートが競技に専念できる環境の整備

- (1)強化活動への継続的な支援
- (2)アスリートのキャリア形成

施策の方向 3

ハイレベルな指導による選手の強化

- (1)トップ選手やプロスポーツ選手による指導

施策の方向 4

スポーツ医・大学・企業等,様々な主体との連携強化

- (1)企業・大学との連携
- (2)充実した医科学サポートの提供
- (3)セミナーの開催



<トップ選手による指導>



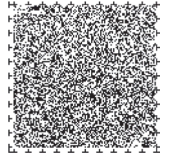
<令和4年度 全国高等学校総合体育大会>



<スポーツ医によるセミナー>

■ 目標

施策内容	現状(R3)	目標(R9)
強化だけでなく発掘・育成に重点を置いた事業を実施する競技団体	③33団体	⑨40団体
国民体育大会 天皇杯順位(R6より国民スポーツ大会に改名)	①47位	(毎年)30位台
国民体育大会 入賞者(R6より国民スポーツ大会に改名)	①(個人)33	⑨(個人)45
	①(団体)4	⑨(団体)16
全国高校総体もしくは同規模大会での入賞数	③31	⑨50
パリオリンピック・パラリンピック及びデフリンピックに日本代表として出場・参加する本県ゆかりの選手・指導者	③4人	⑦15人
セカンドキャリアセミナーの開催	—	(毎年)開催
プロスポーツ選手やオリンピック選手による講演や講習会の実施	③1回	⑨6回
各学校や競技団体に対する医科学サポートスタッフによるサポート件数	③19件	⑨70件



■ 施策

施策の方向 1

児童・生徒の運動習慣化の促進

- (1) 学校体育の充実
- (2) 運動習慣の確立・望ましい生活習慣の形成
- (3) 特別支援学校への支援



<モデル校向け運動習慣化講習>

施策の方向 2

総合型地域スポーツクラブを活用した子どものスポーツ
参画機会の拡大

- (1) 総合型地域スポーツクラブを活用した運動機会の提供



<家庭学習応援動画(体力UP動画)>

施策の方向 3

運動部活動改革の推進

- (1) 運動部活動の地域移行に向けた体制の構築
- (2) 受け皿・人材の確保
- (3) 具体的課題への対応



<総合型地域スポーツクラブ主催スポーツ教室>

施策の方向 4

学校を核とした競技力の向上・スポーツ環境の整備

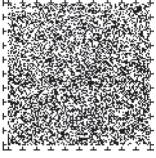
- (1) 拠点校を通じた機能強化
- (2) 学校での安全確保



<スポーツ拠点校の活用(瞬発力・持久力等測定風景)>

■ 目標

施策内容	現状(R3)	目標(R9)
小学校5年生,中学校2年生の「運動能力調査」で全国平均を上回る競技数(全34種目中)	③10種目	⑨17種目
ポッチャ交流大会やオンラインを活用したスポーツ交流大会等の開催	③2回	⑨3回以上
総合型地域スポーツクラブが行う未就学児・小学生を対象とした事業への助成件数	③11件	⑨20件
運動部活動地域移行の推進	—	⑤~推進
全国高校総体もしくは同規模大会での入賞数(再掲)	③31	⑨50
学校事故防止に関する講習会の受講率(県立小・中・高対象)	③92%	⑨100%



基本目標

3

誰もがスポーツを楽しむ

「豊かなとくしま」の推進

■ 施策

施策の方向 1

誰もが参加できるスポーツ機会の拡大

- (1) 障がい者のスポーツ参画
- (2) 高齢者のスポーツ参画
- (3) 地域の実情や多様なニーズに応じたスポーツ環境の整備
- (4) 感染症対策を講じたスポーツ活動の継続

施策の方向 2

スポーツ実施率の向上

- (1) サイクルスポーツの普及促進
- (2) 身近なスポーツ活動の場の整備

施策の方向 3

地域におけるスポーツ活動の充実

- (1) 総合型地域スポーツクラブへの支援
- (2) スポーツ推進委員との連携

施策の方向 4

スポーツにおけるDXの実装

- (1) オンラインを活用したスポーツの場の提供
- (2) eスポーツの推進



<サイクリング専用バス サイクル・キャビン>



<ポタリングツアー>

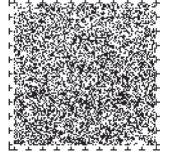
とくぎんトモニプラザ



<eスポーツの拠点「デジタルスタジオ」>

■ 目標

施策内容	現状(R3)	目標(R9)
ノーマピック・スポーツ大会(徳島県障がい者スポーツ大会)の開催	—	(毎年)開催
障がいのある人とない人がともに参加できるスポーツ大会の開催(累計)	③4回	⑨10回
高齢者の健康増進に向けた運動指導者の養成(累計)	③376人	⑨650人
成人の週1回以上のスポーツ実施率	③66%	⑨75%
運動習慣のある人の割合(1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施し、1年以上継続している)	—	⑨40%
サイクリングイベントの実施	③9回	⑨15回
ウォーキングイベントの参加者数	③2,500人	⑨5,000人
総合型地域スポーツクラブの登録数	—	⑨30
オンラインを活用したスポーツの場の提供	—	⑤~推進
eスポーツ交流イベントの開催	③2回	(毎年)10回



■ 施策

施策の方向 1

スポーツによるまちづくりと交流の促進

- (1) プロスポーツと県民の交流イベントの実施
- (2) 全国規模のスポーツイベントの開催

施策の方向 2

スポーツコミッションによる地域活性化

- (1) スポーツコミッションによる大会・合宿の誘致
- (2) スポーツツーリズムの推進

施策の方向 3

国際スポーツ大会を見据えた本県の魅力発信

- (1) ワールドマスターズゲームズ
2027関西の開催
- (2) ホームページやSNSを利用した
効果的な発信



<新オロナミンC球場>



<ジョージア・ラグビー選手との交流>



<スポーツボランティア>

施策の方向 4

ホストタウンを契機とした交流の継続

- (1) ホストタウンを契機とした交流の継続

施策の方向 5

スポーツ環境の向上

- (1) 未来型スポーツ環境の構築
- (2) スポーツ施設の老朽化対策・安全対策

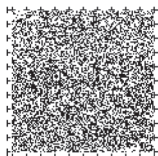
施策の方向 6

スポーツボランティア活動の推進

- (1) スポーツボランティアの発掘・育成
- (2) スポーツボランティア活動の促進

■ 目標

施策内容	現状 (R3)	目標 (R9)
徳島ヴォルティスホームゲーム招待者数	③2,165人	⑨2,300人
徳島インディゴソックスホームゲーム招待者数	③1,053人	(毎年)2,000人
全国レクリエーション大会の開催	—	⑤開催
国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数(累計)	③37件	⑨95件
ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催	—	⑨開催
ホストタウン相手国等とのスポーツ交流件数(累計)	③45件	⑨70件
国際大会や全国大会が開催可能な施設の整備や利用環境の向上 オロナミンC球場内野スタンド全面改築 むつみスイミング観客席スタンドの改築 アリーナ機能を有する新たな武道館整備の検討	—	⑤～推進
スポーツイベントにおけるボランティアの推進	—	⑤～推進



徳島県のスポーツ関連情報

○総合型地域スポーツクラブに関すること
あわスポネット



○障がい者スポーツに関すること
徳島県障がい者スポーツ協会



○高齢者スポーツに関すること
とくしま”あい”ランド推進協議会



○サイクリングに関すること
自転車王国とくしま



○スポーツツーリズムに関すること
徳島県スポーツコミッション



○スポーツ施設の予約に関すること
徳島県スポーツ施設・公共施設予約システム



○スポーツ施設(県立)に関すること

鳴門・大塚
スポーツパーク



障がい者スポーツセンター



むつみパーク蔵本



大神子病院しあわせの里
テニスセンター



県立中央武道館



JAアグリあなん運動公園



徳島県 未来創生文化部 スポーツ振興課
〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地
TEL 088-621-2113 FAX 088-621-2819
Email sportsshinkouka@pref.tokushima.jp

